

令和元年度 就労部会 振り返り・評価シート

R2年1月23日作成

【活動方針】

就労系サービスの現状を把握しながら、必要な取り組みについて検討する。

【取り組み内容】 ※具体的な活動内容及び結果を記載する

開催回数	6回	開催月	6、7、9、10、11、1月
<ul style="list-style-type: none">・今年度は、4月から適用を始めた就労移行支援の再利用の状況確認、新サービスである就労定着支援や、就労継続支援B型についての課題を確認し、必要な取り組みについて検討した。・就労移行支援の再利用については、適用間もないためケースがない状況を確認。引き続き、支援係が利用状況等に関して確認し、必要な情報を部会で共有していく形をとっていく。・就労定着支援については、実施している5事業所の現状把握を行い、その中から課題等が見えてきている。取り組みについては支援係と相談しながら、どういった対応が必要か検討することになった。・就労継続支援B型等については、今年度福祉課が全就労支援事業所を対象に実施するヒヤリングにて、現状や課題が見えてきた。まずは福祉課がヒヤリングの報告会を企画し、継続的に就労促進が図れるような連絡会の必要有無を含めて検討を進めていくことになった。			

【メンバーの感想・意見（協議会活動を通じての振り返り）】

協議会での活動を通じての成果や気付き、今年度部会・ワーキングの取り組みに関すること、協議会の運営や体制に関する課題・意見等。

- ・就労移行支援の再利用については、引き続きアセスメントを行いながら見ていく必要がある。
- ・就労部会で取り上げる話題は多岐であり、何に手を付けるのかが難しいと感じている。幅広いと深められず解決に至らないため、ニーズや深床度から1つをピックアップして取り組むのも一つの方法だと思う。一方で、部会としては市の就労支援体制の把握に努める位置づけとして、状況把握と共有を主とし、課題解決に向けた実働はワーキングに引き継いで取り組むなどの工夫が必要とも感じる。
- ・福祉課と協働して行ったヒヤリングは現状把握と課題抽出ができたため、大きな成果と位置付けて良いと思う。あとは、それらをどのように今後に活かし、つなげていくかが重要。ヒヤリングを実施して終了としないようにしてもらいたい。
- ・ハローワークとしては、就労継続支援B型の事業所との関係は希薄であるが、ヒヤリングを通じて現場の実態が聞けたことが有益であった。今回のつながりを大事に、就労に向けた動きができると思う。
- ・来年度は福祉計画の最終年度になるため、次期計画を意識した検討が必要ではないかと思っている。
- ・福祉計画に就労者数を増やす等を明記することで、予算がついたり動きがスムーズになる利点がある。事業所にはこれらをうまく活用してもらい、実績に結び付けてもらいたい。
- ・それぞれの立場(所属)から就労現場で起きている現状や課題を聞けることが、業務に活かせるため貴重な機会と思い参加している。何が求められているかを含めて内容を事業所に持ち帰り、取り組みの参考にさせてもらうことができたと思う。
- ・行政として、就労移行支援の再利用について、逐一情報提供ができなかった点が反省。今後はタイムリーに共有を図っていけるよう意識していきたい。
- ・ヒヤリングを通して、送り出し側の課題が見えた1年だと思う。実際の動きは来年度以降となるが、部会としてステップをふみながら、就労への後押しをしていける体制をとっていきたい。
- ・現場の生の声が聞けて参考になる部分が多い。
- ・卒業後すぐには就職に至らず、就労移行支援等の福祉サービスを利用して就職したケースについて、どういった経過を経て就職に結びついたのか、ヒヤリングや部会での意見交換を通して、部分的にはあるが見えて良かった。生徒自身や保護者、教員に返していき、実態を把握していきたいと思う。
- ・今年度の方針の通りに進んできたとは感じるが、課題に対する取り組みに不十分さを感じる部分は残る。もう一歩ふみこんだ取り組みをした方がよかったのではと思う面も残った。
- ・ヒヤリングで事業所ごとの温度差を感じた。これらを埋める必要があるのかどうか、考えたほうがよいのではと思った。

協議会の機能： 情報機能、調整機能、開発機能、教育機能、権利擁護機能、評価機能

【来年度の取り組みについて】

継続する場合（モニタリングも含む）	
活動方針（案）	
取り組み内容	
引き継ぎ事項等	

終了する場合	
理由等	